

令和4年度 事業計画書

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団

令和4年度 事業計画書

(令和4年4月1日 から 令和5年3月31日まで)

【運営方針】

当法人は、札幌市における生涯学習の普及振興に資する事業を行うとともに市民の学習活動を総合的に支援し、もって生涯学習の推進に寄与することを目的とし、定款(第4条)に次の事業を行うことを定め、この内容に沿った事業を展開していきます。

- (1) 生涯学習に関する学習機会提供事業
- (2) 生涯学習に関する活動支援事業
- (3) 生涯学習に関する指導者・支援者の養成・活用事業
- (4) 生涯学習に関する情報収集・提供事業
- (5) 生涯学習関連施設の管理運営事業
- (6) その他 この法人の目的を達成するために必要な事業

【事業区分】

実施する事業については、公益目的事業と収益事業等に区分し、以下のとおりとします。

<公益目的事業>

生涯学習普及振興事業

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

- 1 学習機会提供・活動支援事業
- 2 学習支援者活用・育成事業
- 3 生涯学習センター管理運営事業

II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

- 1 科学及び科学技術普及振興事業
- 2 青少年科学館等管理運営事業

<収益事業等>

物品販売等事業

生涯学習施設の公益目的外貸与等事業

【事業計画】

生涯学習普及振興事業

(定款第4条各号に掲げる事業)

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動および交流の場を提供し生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 学習機会提供・活動支援事業

多様なニーズに対応した学習機会や情報を提供して市民が学習に取り組むきっかけづくりを行うとともに、継続的な活動の場や学習成果発表機会の提供などにより学習活動を支援し、生涯学習の普及啓発を図る。

(1) さっぽろ市民カレッジ

年間を3期(4～8月、9～12月、1～3月)に分け、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系で講座を実施する。生涯学習センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生(市民講師)の講座、大学・企業と連携した講座、高校生と社会人が一緒に学ぶ学社融合講座を実施するなど、多様な学習機会を提供する。

ア 市民活動系 (38講座)

まちづくり活動などに参加するきっかけを提供するため、札幌や北海道の文化・歴史・自然環境を深く知る講座や地域課題、社会問題について考える講座、趣味・特技をボランティア活動につなげるための講座などに重点をおき実施する。また、実践的な学びの場としての現地学習を取り入れた講座の拡充を図る。

イ 産業・ビジネス系 (36講座)

働き方改革や多様な人材の積極的な活用など、これからの働き方に対応した講座やビジネススキルアップのためのアイデア、トレンドの情報を学ぶ講座を実施する。また、目的や内容を明確化し、短時間で気軽に学ぶスキルアップ講座を実施する。

ウ 文化・教養系 (165講座)

現代的課題や社会の話題に関すること、趣味や教養など生きがいづくり・仲間づくりにつながる講座を実施する。

ご近所先生企画講座

第3次札幌市生涯学習推進構想の「まちの活力を高めるための学びの推進」「学習成果の発表や学びをきっかけにした交流の場の充実」の実現を目指し、市民が講師(=ご近所先生)となり、自身の知識・特技・経験を生かした講座を市内各地で展開することで、学びを手段とした新たな“縁(=学習縁)”をつくり出す。

ちえりあ学習ボランティア企画講座

さっぽろ市民カレッジの企画に参画するボランティアグループ「ちえりあ学習ボランティア」の手で講座の企画運営等を行うことで、市民の社会参加や自主的な学習活動を促進する。

学社融合講座

市立札幌大通高校を会場に行う講座であり、異なる世代が共に学び合う「新たな学びの場」を創出することによって、学ぶことの楽しさや喜びを分かち合い、生涯学習の機会の充実・拡大を図る。

(2) 生涯学習関連講座

ア 大学などとの連携事業

各大学の特性を生かしながら、学生が企画から運営までを行う講座を実施する。

(連携先:北海学園大学、北海道教育大学、札幌市立大学等を予定)

イ 行政機関連携講座

市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習センターが有する企画・運営のノウハウと図書館が持つ専門性を生かした講座を実施する。

ウ 民間企業などとの連携事業

それぞれの企業の特性や専門性を生かした講座を実施する。また、企業の社会貢献活動に協力する。

(連携先:アサヒビール(株)、雪印メグミルク(株)などを予定)

エ 市民活動団体や専門機関などとの連携講座

市民に専門性のある学習の機会を提供するため、専門機関や学会・市民活動団体と連携し、現地学習を交えるなどして専門性が高い中にも親しみが感じられるような講座を実施する。

(連携先:(公社)土木学会北海道支部、札幌競馬場などを予定)

(3) 生涯学習普及事業

ア ちえりあフェスティバル

生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、教育センター、リサイクルプラザの館内4団体が合同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを実施し、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図る。

イ ちえりあ映画会

多様な映画に親しむ機会を提供するため、生涯学習センターが所蔵する映像教材をちえりあホールで上映する。また、ボランティア団体「ムービー北海道」の協力を得て、目が不自由な人も邦画を鑑賞できるよう副音声ガイドサービスを実施する。

また学校の長期休業期間には、親子で楽しめる作品を上映する。

ウ ミュージックシアター

クラシック、ジャズ、ミュージカルなどに親しむ機会を提供するため、生涯学習センターが所蔵する多様な映像教材を、ちえりあホールで上映する。

エ ゆりかごコンサート

音楽に親しむ機会の少ない子育て中の親を対象に、その子どもと一緒に気軽に音楽を楽しんでもらえるよう、乳幼児の声や動きを気にせずに鑑賞できるコンサートを開催する。

オ CD コンサート

生涯学習センター所蔵の音楽資料を活用し、良質な音響環境で名演奏に親しむ場を提供し、メディアプラザの貸出 CD の利用促進を図る。

カ 北海道吹奏楽フェスティバル 〔共催：北海道吹奏楽プロジェクト〕

吹奏楽活動を支援し、その普及を図るため、若手プロ奏者や、アマチュア、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校などの吹奏楽部が一堂に会し、双方の交流を図りながら、公開レッスンを行うレクチャーコンサートを実施する。

キ カルチャーナイト 〔主催：カルチャーナイト実行委員会〕

文化活動の発信を通じて、新しい地域文化の創造と発展を図る「カルチャーナイト」に参加することで、地域住民の文化への関心を高めるとともに、センターのPRを行う。

ク 市民交流スペース「ちえテラス」運営

ブックカフェスタイルの生涯学習支援スペース「(愛称)ChieTerrace」で、お絵描き展などを行い、より効果的な活用・交流が出来る場を提供する。

(4) 学習活動支援事業

ア サークル発表会

ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体が学習成果を披露する「サークル発表会」を開き、サークル参加者の活動意欲の向上を図るとともに、広く市民に鑑賞の場を設け、サークル活動や学習活動に対する興味・関心を高める。音楽や舞踊などの舞台部門と、書道や絵画などの展示部門で構成する。

イ ロビーコンサート

市内や近郊で音楽活動などに取組む個人、団体に、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に気軽に演奏を聴いてもらう機会を提供する。

ウ ロビー展示

ロビー及びギャラリーでさっぽろ市民カレッジ等の事業PR展などを行い、市民の学習意欲向上のための広報の場として活用する。

2

学習支援者活用・育成事業

関係機関及びサークル・団体と連携し、市民活動及びまちづくり活動を担うことのできる人材を育成する。

(1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

ア 市民講師育成事業(ご近所先生)

ご近所先生企画講座の講師となる市民を対象に、講師としての資質向上とスキルアップを目的とした研修会などを実施する。

イ 生涯学習ボランティア育成事業

(ア) ちえりあ学習ボランティア

さっぽろ市民カレッジ講座の企画・運営を行う「ちえりあ学習ボランティア」に、活動の場と知識やノウハウを実践的に学ぶ機会を提供する。

ウ 職場体験などの受入れ

中学校や高等学校、特別支援学校、大学等から、職場体験やインターンシップ、社会教育演習の実習などを受入れ、講座の企画・立案や運営など、生涯学習に係る職業体験の場を提供する。

エ 生涯学習関連施設職員等の研修事業

区民センター、地区センターなど生涯学習活動支援に関連する施設職員の資質向上を図るため、事業の企画立案や広報などに必要な知識やノウハウを身に付ける研修を実施する。また、施設間の相互交流のきっかけとする。

(2) ボランティア等活用事業

ア 学習支援者活用推進事業

さっぽろ市民カレッジ受講修了者に、学んだ成果を生かせるようセンター事業への参画を促すとともに地域での活動の支援を行う。

(ア) ちえりあビデオクルー

学習成果活用の機会を提供するため、ビデオ撮影・編集講座の受講生で結成されたグループ「ちえりあビデオクルー」に、同講座の講師を務めてもらうほか、センターの事業、地域の活動・行事などの撮影・編集を行ってもらい、その作品を生涯学習センターのホームページで公開する。

また、学習成果の発表の機会の提供や撮影・編集技術の向上を目的とした研修を行う。

(イ) 市民ファシリテーター

さっぽろ市民カレッジ(市民ファシリテーター養成講座)修了者を対象に、同講座の企画から運営までをサポートしてもらうことで、講座内容の充実を図るとともに、学習成果活用の機会を提供する。

(ウ) コーラスボランティア

さっぽろ市民カレッジ「楽しく歌ってボランティア」講座修了生がつくるコーラスボランティアサークルに同講座の運営補助を務めてもらい、学習成果活用の機会を提供する。

(エ) カメラボランティア

さっぽろ市民カレッジ「カメラで始めるボランティア活動！」講座修了者によるサークル「カメラボランティア」に、同講座の運営補助を務めてもらうことで、学習成果活用の機会を提供する。また、生涯学習センター事業の写真を撮影してもらい、広報誌や事業PRに活用する。

生涯学習に関する情報を提供し、施設の維持管理を行うことで、生涯学習の支援と普及振興を図る。

(1) 施設の貸与

ア 貸室事業

ちえりあホールおよび各種研修室を条例に基づき有料で提供し、生涯学習活動の支援と普及振興を図る。

イ ロビー・ギャラリーの活用

ロビーでの作品展示やギャラリーの無料貸出しを行い、学習成果発表の機会提供および学習意欲の向上を図る。

ウ 学習のための施設開放

市内の高等学校の学校休業期間および受験期間に合わせ、終日利用申込みのない貸室(大研修室・中研修室1・2に限る)を開放する。

エ 公益目的事業の共催

生涯学習センター条例および当法人の公益目的事業に沿った外部団体の事業に対して、企画協力、広報支援、会場・物件使用料の減免措置等を行う。

(2) 学習相談・情報提供

ア 学習相談、サークル・講師の紹介

生涯学習に関する幅広い情報を提供するとともに、市民の学習相談にも対応するため、市内の多様な生涯学習関連情報の収集、サークルガイドの発行、市民講師バンクの運営などを行う。

イ 広報誌の発行

生涯学習センター主催事業や講座及び施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し、公共施設などに配布する。また、SNS の公式アカウントを活用し、広報誌の配信も行う。

ウ ホームページの活用

生涯学習センターの事業や講座等の情報、貸室の空き状況をホームページに掲載するとともに講座申込み、貸室Web仮予約などの機能を提供することで利用者への利便性向上を図る。

エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

行政機関、高等教育機関、カルチャーセンター、NPOなど、市民向けの学習機会を提供している施設の特徴や主な開催講座等の情報を掲載する冊子「さっぽろ生涯学習情報 大人の学び場MAP」を発行し、市内公共施設等で配布する。

また、年2回、札幌駅前地下歩行空間内で配布会を行う。

オ 「子どもの学びガイド」の発行

小学校の長期休業前に市内公共施設で開かれる子ども向けの講座等の情報を掲載したチラシ「子どもの学びガイド」を制作し、市立小学校の児童に配布して、児童と保護者に情報提供を行う。

カ 調査研究事業

市民の学習ニーズの把握・調査等、札幌市の生涯学習の振興に資するための調査・研究を行う。

キ 利用者などの声を生かす取組み

(ア) 生涯学習センター運営協議会

学識経験者などによる協議会を開催し、事業を検証するとともに、委員からの意見や提言を今後の管理運営に生かす。

(イ) 利用者アンケートの実施

センター利用者を対象に、接遇や施設利用などの満足度を測るアンケートを行い、市民から寄せられる意見と併せて施設設備の改善や当センターの管理運営に生かす。

(3) 図書及び視聴覚教材の閲覧・貸出し、資料収集並びに管理運営

ア メディアプラザ運営事業

利用者の調べ学習を支援するため、幅広い分野の蔵書約2万6千冊とクラシックを中心とした音楽資料約1万2千点を閲覧及び貸出しに供し、市内の他の図書館・図書室との相互の取り次ぎサービスにも対応し、生涯学習における図書等の活用の推進を図る。

また、メディアプラザやChieTerrace等での資料の展示や職員の専門性を生かしたレファレンス(相談)業務を行い、生涯学習における図書等の活用の推進を図る。

II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

なお、青少年科学館は展示物の大規模リニューアルおよび施設の長寿命化等のため保全改修工事を実施することに伴い、令和4年8月より休館を予定している。休館期間中については、施設外での事業を中心に展開する。

青少年科学館の休館期間は、次のとおり。

休館期間 令和4年8月22日～令和6年3月末

1 科学及び科学技術普及振興事業

青少年を主とした幅広い年齢層を対象に最新の情報や技術に触れる機会を提供し、科学及び科学技術に関する知識の普及振興を図る。

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(ア) 日曜実験室

小中学生を対象に、身近な題材や科学現象をテーマにした実験教室を実施する。

(イ) サイエンジャー科学教室

小中学生を主対象に、科学や科学技術を体験的に学ぶ機会を提供する。実施にあたっては、専門機関や企業などと連携して行う。

(ウ) 科学館の工作室

科学原理の理解を深めるとともにものづくりへの興味・関心を高めるために、主に小中学生を対象に、簡単な工作教室を実施する。夏・冬休みには、自由研究等に活かせるような工作会を実施する。

(エ) 大人のための天文教室

大人が天文について学べる機会を提供するため、初心者向けや中級者向けなど参加者の理解度に合わせて難易度を設定し、天体観測機器を活用した天文教室を実施する。

(オ) 親子天文教室

楽しみながら基礎的な天文知識を身につけ、天体への興味・関心を深めてもらうため、小学生とその保護者を対象に、天文工作と天体観測を組み合わせた天文教室を実施する。

(カ) 宇宙セミナー

宇宙・天文についての興味・関心を高めるため、第一線で活躍する専門家を招き最新の天文情報に基づく講座を実施する。

(キ) 先端科学技術講座

最先端の科学技術への興味・関心を高めるため、常設展示では補えない最新の科学研究について紹介する講演会を実施する。

(ク) 大学生による科学教室

大学生の科学教育研究を支援するとともに、子どもたちの科学への興味・関心を高めるため、大学生が小中学生を指導する科学教室を実施する。

イ 出前イベント

(ア) 移動天文台

市内各地に移動天文車と天文指導員を派遣することを通して、市民に天体観望の機会を提供し、新たに天文に興味をもつ市民層を広げる。

(イ) 移動プラネタリウム

地理的・時間的に来館困難な学校などで移動プラネタリウムを用いた投影を行うことで学校教育との連携を図り、児童・生徒の天文に対する興味関心を喚起する。

ウ その他科学普及に関する事業

(ア) 科学クラブ運営

小中学生を対象に会員を募り、会員限定イベントの実施や各種講座の情報提供を行い、科学への興味・関心を高める。

また、イベント等の参加回数に応じた特典を設けるなど、リピーターを増やすとともに、科学館への愛着を育む取組みを行う。

(イ) 職場体験などの受入れ

生徒・児童の教育支援、地域との連携および市民への科学知識の普及啓発に貢献するため、職場体験等を受入れ、指導する。

(ウ) 実験実習セット貸出し及び制作

学校での効果的な授業作りに役立つ実験・実習セットを貸出すとともに、観察資料用の微小生物を提供する。

(エ) 教員研修

小中学校の教員を対象に、教材研究に協力するとともに、実験技能を中心に教員の理科教育に係る資質・能力の向上につながる研修を行う。

(オ) 博物館実習の受入れ

令和4年度は実施しない

学芸員等の資格取得を目指す大学生等を受入れ、指導する。

エ 共催事業・協力事業

(ア) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」 (主催:(一財)日本宇宙フォーラム)

青少年の科学技術や宇宙開発への興味・関心を喚起するため、「宇宙の日(9月12日)」を記念して(一財)日本宇宙フォーラムが主催するコンテストの応募作品を募集し、審査・表彰に協力する。

(イ) 夏休み天体観望会

星雲や流星など、市街地では観察困難な明度が低い天体を見る観望会を、光害の影響を受けないところで実施する。

(ウ) さっぽろ星まつり (共催:さとみらいプロジェクトグループ)

市民の天文への興味・関心を高めるために、天体観望会、天文愛好家による星空観望等のイベントを市内の大規模公園等を利用し実施する。

(エ) 札幌市創意くふう作品展

学校教員との連携と科学普及活動への貢献のため、小・中学生の自由研究作品などの審査及び作品展に協力する。

(オ) 他団体との連携による科学教室

大学や学会等の研究成果の理解・啓発のため、小中学生向けの科学教室等を開催する。

(2) ボランティアなどの育成・活用事業

ア 天文ボランティア養成講座

天文指導に興味・関心を持つ学生や一般市民を対象に、天体観望の初歩的な手法や星空案内方法などを取り上げ、身近な人への天文普及を行える程度の能力を身に付ける機会を提供する。

イ 天文指導員の養成

天文に興味を持っている学生や一般市民に定期研修や天文事業への参加機会を提供し、天文普及の一翼を担う人材を養成する。

ウ 展示ボランティア等の養成

展示および工作の円滑な事業の実施を目的に、科学館専門職OBの方々に、科学に関する展示や実演などの監修や指導、ミニ実験実演の実施および工作題材の企画や運営の補助を行ってもらう。

(3) 科学に関する情報の収集・提供

ア 科学資料の収集

(ア) 科学技術に関する資料の収集

実演や展示物の解説並びに展示物の更新・改良の基礎資料とするため、市販の出版物や他施設における発行物などを収集し、提供・活用する。

(イ) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物を収集するとともに、札幌市天文台および移動天文車などを活用して観測天体写真を撮影し、資料として収集し、提供・活用する。

イ 科学情報の提供・学習支援

(ア) 「星空散歩」の発行

その季節に見ることができる天体や星座、旬の話題を紹介し、市民の天文への興味・関心を喚起する。

(イ) 天文相談コーナーの運営

天体望遠鏡や参考図書などを備えた天文相談コーナーを設置し、初歩的な質問に答えるなど、来館者の天文学習を支援する。

(ウ) ホームページによる学習支援・情報発信

科学館ホームページ内に科学トピックスや学習支援のためのワークシートなどを掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行う。

2

青少年科学館等管理運営事業

施設機能を活かして科学および科学技術に関する知識の普及啓発と創造性豊かな青少年の育成を図るために必要な施設を維持管理し、生涯学習の普及啓発に寄与する。

(1) 展示関連事業

ア 科学館展示

(ア) 常設展示

「見て・触れて・考える」をテーマに、各コーナーの展示物をより楽しく、理解しやすくなるよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらう。

(イ) 展示実演等

科学の原理や技術の理解を楽しみながら深められるよう、サイエンスショーやテレビスタジオおよび低温展示室での実演など、参加型の展示実演等を行う。

(ウ) 実験・実習への協力

市内の小中学校を対象に、学習指導要領を踏まえた内容で子どもの興味・関心を高める実演や実験・実習を行う。

イ 特別展等

(ア) 特別展

夏休みや冬休みの期間に、話題性の高いテーマや特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示中心の特別展を開催する。

(イ) 環境科学展

市内等の企業や団体と連携し、環境問題と対策技術の現状などについて、子どもたちにわかりやすく紹介するイベントを開催する。

(ウ) サイエンス広場

中学校や高校の科学部等の研究成果の発表と交流を育む機会を提供するとともに、生徒が企画・運営する科学体験ブースを設け、来場する子どもたちが科学体験のできるイベントを開催する。

(2) 天文関連事業

ア プラネタリウム投影・解説

(ア) 一般投影

生解説を含む投影で、年齢や理解程度に応じて柔軟に対応し、市民にわかりやすい星座・天文の解説を行う。

(イ) 学習投影

小・中学校を対象に、学習指導要領および各学校の教育課程を踏まえ、理科授業の一環として、天体の動き等を学習するプラネタリウム投影を行う。

(ウ) オート番組制作

令和4年度は実施しない

プラネタリウム投影時に上映するオリジナルのオート番組(ドーム全体に投影されるアニメーション動画)を青少年科学館の特色・独自性を生かして制作する。

イ プラネタリウム特別投影

(ア) 特別投影

通常のプログラムとは趣向を変え、旬の話題や現象について深く掘り下げ、天文に興味のある人にさらに深く、広く考えてもらえるような投影を行う。

(イ) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な人もプラネタリウムを楽しめるように、字幕付きの投影を行う。

(ウ) キッズプラネタリウム

未就学児とその保護者を対象としたプラネタリウムを行い、親子で参加できる場を提供する。

(エ) プラネタリウム祭り

プラネタリウムの可能性や認知度を高めるとともにその魅力を広く市民に伝えるため、コンサートや絵本の読み聞かせなど、科学以外のジャンルと組み合わせた内容のイベントを実施する。

ウ 天体観望事業

(ア) 天体観望会

口径 10cmの望遠鏡を用いて、各季節の星や惑星の観望を行い、天体に対する興味・関心を喚起する。

(イ) 札幌市天文台公開

天文に関する興味・関心を高めるため、札幌の中心部に程近い中島公園内にある札幌市天文台を公開し、日中は太陽を中心に、夜は季節の星座を中心に観望会を実施する。

(ウ) 昼間の星を見よう

科学館屋上天文台を活用し、昼間に見ることのできる星を観望する機会を提供する。

(3) その他施設運営

ア 「科学館ニュース」の発行

最新のイベント情報を周知するために、「科学館ニュース」を毎月発行し、館内に掲示するとともに、市内小中学校や区役所、区民センター、図書館などへの配布を行う。

イ 利用者などの声を生かす取組み

(ア) 利用者アンケートの実施

館の運営や事業に活かすため、利用者へのアンケート調査を行う。

(イ) 科学館運営協議会の開催

学校関係者や学識経験者、地域有識者などによる協議会を開催し、事業を検証するとともに、委員からの意見や提言を今後の管理運営に生かす。

ウ 科学館感謝デーのイベント

令和4年度は実施しない

昭和 56 年 10 月の当館開館を記念して、10 月の第 1 土曜日に市民の生活と科学および科学技術の関わりについて考えるイベントを行うことで、科学館の役割を広く市民にPRする。

物品販売事業

(定款第 4 条第 1 項第 6 号に掲げる事業)

(1) 売店の運営

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした売店事業を行う。

(2) 自動販売機の設置・販売

札幌市生涯学習センターと札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした自動販売機事業を行う。

(3) 飲食店の運営

生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、「ブックカフェスタイルの飲食・交流スペース(愛称:Chie Terrace(ちえテラス))」においてカフェを設置・運営する。

生涯学習施設の公益目的外貸与等事業

(定款第 4 条第 1 項第 5・6 号に掲げる事業)

(1) 施設の貸与

企業などの利用を含む公益目的以外の目的に対し、ちえりあホールおよび各種研修室を貸与する。

(2) 駐車場管理業務

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、利用者への便益提供を目的とした駐車場の管理運営を行う。

(3) 施設管理受託業務

札幌市から受託する、札幌市生涯学習総合センター内の教育センター、若者活動センター、リサイクルプラザなどの警備、清掃業務を行う。

令和4年度 青少年科学館改修工事による休館中の主な事業の変更点(概要)

事業名	休館中の変更点等
科学教室	ちえりあを会場に実施する。
その他科学普及に関する事業	科学クラブや教員研修はちえりあを会場に実施するほか、職場体験の受入れはオンラインの活用も検討する。博物館実習の受入れは休止する。
共催事業・協力事業	別会場にて実施する。
天文指導員の養成	研修の実施を縮小する。
科学情報の提供・学習支援	「星空散歩」は発行回数及び館内配布分の部数を削減する。天文相談コーナーはちえりあを会場に運営する。
科学館展示	展示実演、実験・実習への協力は、小学校、幼稚園、ちえりあ等を会場に実施する。
特別展等	ちえりあほか別会場にて実施する。
プラネタリウム投影	職員を派遣し、移動プラネタリウムを用いて実施する。プラネタリウム祭はちえりあを会場に実施する。
天体観望事業	「昼間の星を見よう」はオンライン中継を活用する。
「科学館ニュース」の発行	イベント告知記事や、科学館の取組みを幅広く紹介する記事を掲載する。

令和4年度

札幌市生涯学習センター一等管理業務

研修計画

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団

令和4年度札幌市生涯学習センター研修計画

令和4年4月

項目		目的及び概要	対象	回数
接 遇	接客、接客研修	内部研修等により、接客接客能力の向上を図ります。	・新採用職員 ・窓口担当職員	年1回以上
業 務 に 必 要 な 知 識 ・ 技 術 等	個人情報保護関係研修	内部研修等により、個人情報保護の重要性への理解と関係規定の周知を図ります。	全職員	随時
	公立文化施設協議会主催 セミナー	関連講習の受講により、組織運営に関する関係法令の専門知識や、ビジネス技術の実務能力向上を図ります。	主に正職員	随時
	全国公益法人協会主催 マネジメント研修			
	札幌商工会議所主催 マネジメント研修			
	札幌市出資団体事務連絡協議 会研修			
	国立教育政策研究所社会教育 実践研究センター主催の各種 セミナー	関係セミナー等への参加により、生涯学習に関する専門的な能力の向上に努めます。	主に正職員	随時
	道立生涯学習推進センター 主催の各種セミナー			
	教育関係団体等の公開講座など			
	民間企業等主催の研修			
	他施設への派遣研修			
	社会教育主事講習	専門的な能力を高めるため、社会教育主事講習修了者を計画的に増やすとともに、職員の育成に努めます。	正職員	随時
社会教育主事専門講習				
防 火 ・ 防 災	防災訓練	利用者などの安全を確保するため、災害等の緊急事態への対応に備えます。	全職員	年3回
	救命講習	「救命講習」「防火管理者講習」等の受講により、防災・安全対策に関する知識技術の向上を図ります。	未受講者	年1回以上
	防火・防災関係研修		防火・防災管理者	随時
環 境	環境マネジメントに関する研修	内部研修等により、環境・省エネルギー・省資源に関する意識と取り組みの向上を図ります。	全職員	随時
そ の 他	ワーク・ライフ・バランスに関する 研修	「ワーク・ライフ・バランス推進員養成研修」等により、仕事と私生活の調和の取れた職場づくりに取り組みます。	全職員	随時
	メンタルヘルス研修	内部研修等により、職員の健康管理を図ります。	全職員	随時
	コンプライアンス研修	法令順守やハラスメント等に関する研修を行い、職員のコンプライアンス違反を防ぐよう努めます。	全職員	随時
	情報セキュリティ研修	職員一人ひとりのセキュリティ意識を高めるための研修	全職員	年1回以上
	職員会議	センターの運営状況の報告など、さまざまな問題について話し合うことで、職員間での情報を共有し、一層のサービス向上に努めます。	全職員	随時

令和4年度

札幌市生涯学習センター一等管理業務

関係団体一覧

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団

関連組織・団体等一覧
(札幌市生涯学習センター)

区 分	組織等名称	備 考
全国	(公社) 全国公立文化施設協会	
北海道	北海道公立文化施設協議会	
北海道	ホール連絡協議会	
札幌	札幌市出資団体事務連絡協議会	
札幌	札幌西区防火管理者協議会	
札幌	札幌市教育センター	
札幌	(公財) さっぽろ青少年女性活動協会	宮の沢若者活動センター指定管理者
札幌	特定非営利活動法人 環境り・ふれんず	札幌市リサイクルプラザ宮の沢指定管理者
札幌	(一社) 札幌市私立幼稚園連合会	
札幌	札幌市P T A協議会	
札幌	(一社) 札幌市P T A共済会	
北海道	北海道教育委員会	
北海道	北海道 (総務部法人局法人団体課)	
札幌	札幌市中央図書館	市立図書館蔵書の貸出、返却対応